

ドクモスカウト DOKUMO 2011



第1次審査 vol.3
三浦半島走水沖の
アジ
三浦半島走水港
吉明丸

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



3rd チャレンジャー
石崎 美穂乃さん
いしざき みほの
プロフィール
●1985年4月生まれ25歳
●神奈川県横浜市在住
●職業 料理人(イタリア料理)
●趣味 釣り、旅行、料理



●釣りにハマって2年がたちました。今では週2回ペースで地元神奈川県から千葉、静岡、新潟などどこでも行きます。釣りの楽しさと仕事から食べることの喜びを多くの人に知ってもらいたくて応募しました。



▲船中では後半になって多点掛け連発



▲走水名物、大アジの連発



プ、30分もすると投入ごとにアタリ入る食い出し。ベイスになってきた。これから数をのばすのは手返しと多点掛けの技だろう。石崎さんは順調に釣っていくが、今一つ数がのびないのは多点掛けが少ないからだ。船長も見かねてアドバイス、掛かってはすぐに上げアジの掛かり所によってタナの位置も微妙に変えるなどだ。潮の流れが徐々に収まってくる。大型が食い出すと船長が言っていたとおり、10時を過ぎたころから30センチ級の良型もめざらしくなくなった。石崎さんもようやく多点掛けのコツをつかんだようで、3尾掛りも披露する好調ぶり。ただし、型がよくなると取り込み時のバラシも多くなるのは致し方ないところ。ぜいたくな悩みとも言える。12時前になると完全に潮が止まって食いも散発的となるが、乗船者のクレーラーはほぼ満杯。北東風が強くなってきたこともあり、12時過ぎに全員納得の早場がりとした。釣果は22〜38センチを29〜48尾、もちろんトップは石崎さん。後で聞いたら東京湾でのアジ乗合は初めてとのこと、末恐ろしいチャレンジの登場でした。

ドクモスカウト2011募集要項

- 内容：2011年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラ育成のお手伝いをさせていただきます。
- 応募条件：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限ります。
- 選考方法：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラがそろうところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- 応募方法：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。
ケータイからの応募はコチラ→
さらに詳しく… つり情報 検索



▶やりました！ 念願のパフェクト



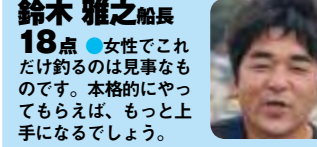
▲水深40メートルでも道糸は斜め。ライトでは狙えないポイントだ
▲船長も操船の合間に

▶なんと、乗船者分の手作りデザートを持ってきてくれました

美穂乃の感想

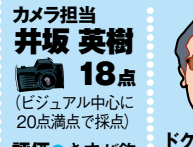
♥始めのうちは潮が速くタナ取りに苦労しました。船長からアドバイスを受けてようやく多点掛けができるようになりました。あと2尾釣って50にしたかったのですが、どうしても届きませんでした。持参した750リットルは埋まりませんでしたけど(笑)、久しぶりの入れ食いに満足です。

吉明丸船長の目 Captain



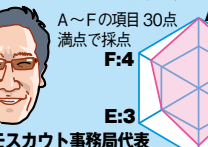
鈴木 雅之 船長
18点 ●女性でこれだけ釣るのは見事なものです。本格的にやってもうえば、もっと上手になるでしょう。

探点者の目 Marker



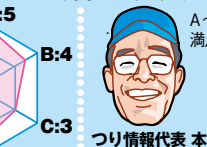
井坂 英樹
18点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)
評価 ●さすが釣り経験が豊富なせいか、様になっていた。真剣に釣りをしている横顔がグッドでした。

A:情熱度



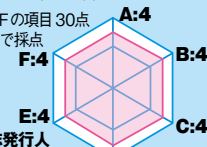
徳永 隆也 23点
評価 ●将来は自分で店を持つことを夢に見て、イタリアンレストランでシェフ修行中だという彼女。休みのたびに船に乗り、最高の食材を自ら調達してくるという。試行錯誤で作った魚料理のレシピも見せてもらったが、さすが、素人料理とは一線を画している。

B:上達度



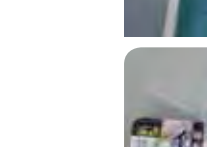
根岸 伸之 24点
評価 ●女性というより、アジ釣りが得意な釣り人が乗っていたというイメージ。自製仕掛けからタックル一式、釣りスタイル、どれを取ってもそつがなかった。ただ今一つ特長がないというのが欠点と言えば欠点に思えた。

C:知識度



吉明丸のアジ仕掛け。アオイソメと特製イソメは持参

D:センス



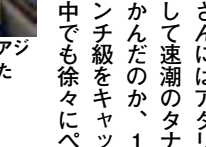
船中でも徐々にベイスアツ

E:お騒がせ度



7時出船。15分ほど走って水沖40メートルダチの釣り場に到着。慎重な潮回りの後に開始の合図が出されるが、潮の流れは予想どおり速い。船中1投目から型は見るが、石崎さんにはアタリなし。しばらくして速潮のタナ取りのコツをつかんだのか、1尾目となる25センチ級をキャッチした。

F:釣果



いよいよ今回は優勝候補といえる方の登場だ。わずか釣り歴2年ながら週2回ものペースで釣行を重ねるといふまさしくドクモ企画の主旨にそぐう石崎美穂乃さんがその人。さていったいどんな釣りをを見せてくれるかを楽しみである。